

報道関係各位

2019年10月3日
株式会社ツクイ

79万人にも及ぶ介護業界の人手不足解消へ。 「サービス間交換留学」と「高校生アルバイト」により風通しをよくする働き方改革が グッドデザイン賞をダブル受賞

この度、株式会社ツクイ（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長 高橋靖宏、以下「ツクイ」）の進める介護現場における新しい働き方に関する2つの取り組みが、2019年度のグッドデザイン賞をダブル受賞しました。

国が2035年に79万人の不足見込を出すなど社会的な課題となっている介護の人手不足解消への一歩として、ツクイは新しい働き方に関する2つの取り組み（多様な介護サービス間の交換留学を実現する制度と、業務を分解し軽作業を高校生アルバイトに担ってもらう制度）をスタートさせました。効率化やストレス軽減といった働きやすさだけでなく、職場に新しい風を生み出し働きがいも増幅させる点を意識したこれらの取り組みが、この度2019年度のグッドデザイン賞をダブル受賞しました（高校生アルバイトに関しては「私の選んだ一品 -2019年度グッドデザイン賞審査委員セレクション」にも選出されました）。



■ 背景：人手不足を招く介護業界の離職問題。離職理由上位は、賃金ではなく業務負担と職場との不一致。

介護スタッフは2035年に79万人の不足が見込まれるなど人手不足が社会的な課題になっています。人手不足を招いている要因の1つが「離職」の多さで、業界全体の離職率は全産業比+1.3%の16.2%と高い数値であり、弊社はこの離職を改善できないかと考えました。その中で、離職要因の上位3つを占める「業務負担」「職場への不満」「人間関係」の問題を解消するため、現場の声を参考に新たな取り組みをスタートさせました。

離職理由 BEST3

- 1位 業務負担による心身不調（27.1%）
- 2位 職場への不満（25.7%）
- 3位 人間関係（25.6%）

出所：社会福祉振興・試験センター「社会福祉士・介護福祉士就業状況調査（平成27年度）」から抜粋し加筆

■ 取り組み①「職場への不満」「人間関係」の解消：多様な介護サービス間の交換留学。

サービス形態によって仕事内容が大きく異なる特徴を活かし、雇用形態や年齢に関わらず、介護の仕事や職場の新しい側面を発見する機会を提供。

□ 取り組み名称：ACT（Area Crossing Tsukui-crew、読み方・アクト）
～人とサービスと地域を繋ぐ、介護の交換留学～

□ 概要

介護スタッフの“交換留学”による離職防止の取り組み。固定化・マンネリ化しがちだった現場で、サービス形態によって仕事内容が大きく異なるという介護の特徴を活かし、地域で複数の介護サービスを横断して働く仕組みをデザイン。雇用形態や年齢に関わらず、介護の新しい側面を発見し、成長する機会を提供することで、従業員満足をもたらしました。



□ 従業員の声

「お客様のご自宅に伺い介護を行ったことで、普段施設で勤務する際も、自宅に戻った後のことを意識したサービス提供をしようと思いました。」

「マンネリ感があつたが、転職したくはないと思っていたので助かりました。」

□ グッドデザイン賞審査委員による評価コメント

ACTの取り組みからは、介護を天職にする人を確実に増やすだろう感覚を得た。

向いている職場は人それぞれ違う。人生に関わる仕事だからこそ、労働としての視点だけでなく、働き手の尊厳や自発性が刺激される仕組みのデザインが求められている。

【例】サービス形態による違い（「デイサービス」と「訪問入浴」と「グループホーム」の比較）

	デイサービス	訪問入浴	グループホーム
			
内 容	心身機能回復訓練、レクリエーション、お食事の提供	居宅生活で入浴が困難となった方の入浴を援助	調理や洗濯、身体介助などの共同生活の支援
提供形態	お客様が施設に通う／日中のみ	お客様のご自宅に訪問／1件約1時間	居住型施設／24時間体制
お 客 様	要介護度が比較的低い方が中心	要介護度が高い方が中心	認知症の方

■ 取り組み②「業務負荷」の解消：高校生アルバイトを巻き込んだ業務分担整理

介護スタッフの業務のうち無資格・未経験でもできるものを地元高校生アルバイトが担当。

介護スタッフの負担軽減はもちろん、高校生・スタッフ・お客様との世代間交流を通して活気や刺激を生み出す。

□ 取り組み名称：高校生ケアサポーター

～介護スタッフの負担を減らし高校生と介護を繋げる新しいアルバイトの形～

□ 概要

介護スタッフの業務負担を軽減し離職防止に繋げる取り組み。

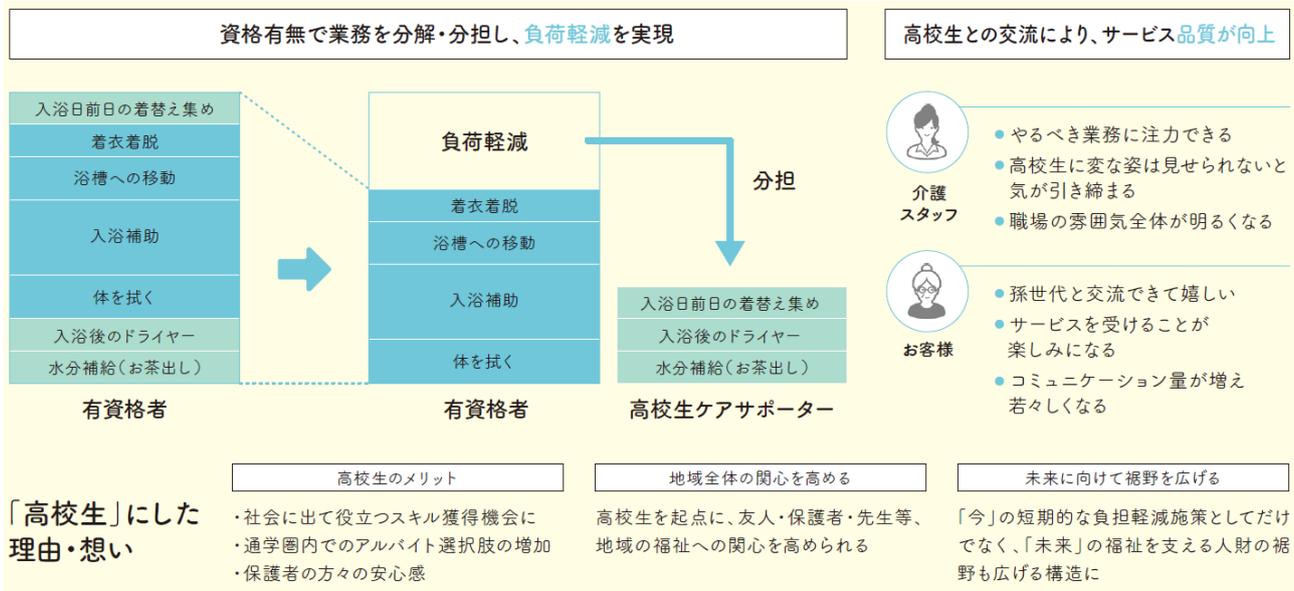
有資格者がやるべき専門業務へ注力できる環境をつくるため業務を分解。無資格者でもできる業務は、新たに採用した地元高校生アルバイトが担当。負担軽減はもちろん、高校生・スタッフ・お客様との世代間交流を通して現場に活気をもたらし、若年層が地域福祉社会へ関心を抱くきっかけを創出した。

□ 成果

32名の高校生ケアサポーターが活躍中。導入事業所では残業時間が14.3%減少。高校生からも「横断歩道を渡ろうとするおじいちゃんを見かけたとき、自然と手を添えられた」といった嬉しい声が挙がっている。

□ グッドデザイン賞審査委員による評価コメント

介護施設では制度・賃金・人材確保と働き方改革で手を付けるべき課題が山積している状況は周知の事実だ。その中で施設マネジメントの民間企業からこの取り組みの発案と実施が行われたことは意義深い。特筆点は、職員の仕事を構造的に分析し、介護の資格がある職員だけができる仕事と資格がなくても行える仕事に切り分けた分業化の発想だ。このデザイン的視点がこの取り組みの屋台骨となっている。更に軽作業には、新しい風を吹き込む高校生の起用というアイデアによって、職員の作業軽減だけでなく、介護を受けるお年寄りとその家族、働く職員の心に「効率化」では作れない心が豊かになる人的交流つまり「人間的な効果」を生んでいる点は、まさにデザイン的行為といえる。高校生の社会体験としての効果も合わせると、三方良しの取り組みとして今後の広がり期待する。



■グッドデザイン賞受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2019」に出展

2019年10月31日(木)から5日間にわたり、東京ミッドタウンで開催される、最新のグッドデザイン全件が集まる受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2019」において、今回の取り組みが特別展示で紹介されます。

GOOD DESIGN EXHIBITION 2019 - 2019年度グッドデザイン賞受賞展 -

会期：10月31日(木)～11月4日(月・祝)

会場：東京ミッドタウン(東京都港区六本木)

<http://www.g-mark.org/gde2019/>

グッドデザイン賞とは

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。 <http://www.g-mark.org/>



以上

取材のお申し込み・本リリースに関するお問い合わせ先
 株式会社ツクイ IR・広報部 渡邊・杉浦
 Mail : press@apps.tsukui.net Tel : 045-842-4193